

関東大学サッカーサポーターズクラブ

サポーターズクラブ会員

年会費 継続：2,500円
新規：3,000円

- 特典① 会員限定 HP の閲覧
・24大学の履修中や、動画インタビューなど
- 特典② 会報誌のお届け
・各大学特長の掲載など
- 特典③ プログラムの割引



シーズンパス会員

年会費 5,000円

- 特典① (一財)関東大学サッカー連盟主催の大会が無料で見学可能
・関東大学サッカーリーグ戦、アミノバイタル杯・インディペンデンスリーグ(関東)
- 特典② プログラムの割引



同時入会だとさらにお得!!

年会費 継続：7,000円
新規：7,500円

- ※新規会員のほかJICAワード発行料 500円を含みます。
サポーターズクラブ会員とシーズンパス会員を同時に入会して頂きますと…
- 年会費が500円お得!



入会方法の詳細は、関東大学サッカー連盟公式 HP 内右上にあるサポーターズクラブ欄 (<http://www.jufa-kanto.jp/regist.php>) をご覧ください。



試合情報や選手のインタビュー、HPの更新情報を Tweet します。皆様のフォローお待ちしております!



関東大学サッカーサポーターズクラブ

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFA ハウス 7 階 (一財)関東大学サッカー連盟内
Tel: 03-3830-1850/Fax: 03-3830-1851/Mail: kuss@jufa.jp 緊急の連絡でない限り、メールでお問い合わせください。

ユニフォーム型ストラップ

各大学のユニフォーム型ストラップをゲートにて500円で販売しております!

大学サッカー公式応援グッズ

ゲートではその他、本大会公式プログラム昨年度の全日本大学選手権プログラムなど販売しています

ぜひゲートにてお買い求めください!

JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦では2つのイベント開催中です!ぜひお見逃しなく!!

* Welcome イベント

1回のご来場につき1スタンプ(当日限り)で、来場回数に応じてプレゼントや参加抽選権が獲得できる「JUFA のスタンプラリー」。抽選で当たる応援大学のユニフォームを GET して下さい!

* 今節(第5節)より

5回スタンププレゼント引き換え開始!
詳しいプレゼント内容・引き換え方法はプログラム販売所まで。お気軽に係員にお声かけください。

サッカー部はジールで決める!



J R 東日本カップ 2015 第 89 回 関東大学サッカーリーグ戦

if OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

Division 2 2015-No.5

発行: (一財)関東大学サッカー連盟 協力: 五味亜矢子、関東大学サッカーサポーターズクラブ



開幕から負けなしの日体大と関学大!好調キープなるか

中3日という過密日程の中行われた JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦第4節。

東海大 G で行われた拓大対日体大の一戦では、日体大の高井(3年)が1ゴール1アシストをマークして、首位をキープ。筑波大対東海大の対戦では後半、東海大が果敢にシュートを放つも決めきることが出来ず、開幕4連敗という厳しい結果となった。朝鮮大 G での関学大対東学大の一試合は、開始早々に関学大のエース菅沼(4年)が先制点を挙げ、これに勢いに乗った関学大が、立て続けに得点を決める。対する東芸大も反撃に出てついに同点に。このまま終了するかと思われたが、アディショナルタイムに関学大が勝ち越しゴールをあげ、壮絶な打ち合いを制した関学大が開幕4連勝を飾った。東国大対朝鮮大戦は、両者とも決定力を欠き、スコアレスドローで勝ち点1を分け合った。東洋大 G での青学大対日大戦は、青学大が先制点を奪い追いつかれるも、その後3得点を

得点ランキング		アシストランキング	
進馬 将也(東洋大)	5点	木村 魁人(関学大)	5アシスト
仙頭 啓矢(東洋大)	5点	仙頭 啓矢(東洋大)	4アシスト
高井 和馬(日体大)	4点	金 秀勇(朝鮮大)	3アシスト
藤井 貴之(日体大)	4点	藤田 優人(拓大)	3アシスト
菅沼 優聖(関学大)	4点		以下2アシスト 7名
北川 柊斗(筑波大)	4点		

挙げ、待望の今季初白星を獲得した。続く東洋大対産能大の一戦。産能大が植田(1年)の2戦連続ゴールで1点を返すも、仙頭(3年)のハットトリックの活躍により東洋大が勝利。勝ち点を積み上げ、上位1位をビタリと追隨する結果となった。まもなく中盤に差し掛かる第5節。ますます熱くなるであろう戦いに注目したい。

JR 東日本カップ 2015 第 89 回関東大学サッカーリーグ戦 2部星取表

[2部第4節終了時]

チーム名	日体	関学	東洋	筑波	東国	東学	青学	日本	朝鮮	拓大	産能	東海	勝点	試合数	勝数	分数	負数	得失点差	得失点差	順位	
日本体育大学				300		301				201	401		12	4	0	0	12	3	9	1	
関東学院大学						504	502				201	301	12	4	0	0	15	8	7	2	
東洋大学						111				201	401	701	10	4	3	1	0	14	4	10	3
筑波大学						011			402		501	201	9	4	3	0	1	11	5	6	4
東京国際大学	003						100	010				300	7	4	2	1	1	4	3	1	5
東京学芸大学		405	111	100				011					4	4	1	1	2	6	7	-1	6
青山学院大学	103	205						401	313				4	4	1	1	2	10	12	-2	7
日本大学					011	100	104			111			4	4	1	1	2	3	6	-3	8
朝鮮大校				204	010		313			313			3	4	0	3	1	8	10	-2	9
拓殖大学	102		102					111	313				2	4	0	2	2	6	8	-2	10
産能学院大学	104	102	104	105									0	4	0	0	4	4	15	-11	11
東海大学	103	107	102	003									0	4	0	0	4	3	15	-12	12

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

戦いの中に、成長がある。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」

リクナビ 体育会

関東学院大学 VS 朝鮮大学校

4月25日(土)
11:30
東国大G

4連勝の関学大だが、前節の東学大戦は5-4という乱打戦。3連勝後の第4節で3-0から追い付かれるドローを経験した昨年と同じ展開となったが、追い付かれた直後に勝ち越し、再度同点とされたが90+2分に決勝点を奪った。「押し込まれたところからこまごまわかった試合だった」と石村大監督。勝ち切ったのは成長した、押し込まれた時の対応、セッターの守備は課題だ。

董沼優蓮 (関学大・FW・4年)
試合開始すぐに先制点を取れ、良い入り方が出来た。後半は相手に押し込まれる苦しい時間帯が何度かあり、両チームとも打ち合いという結果になってしまった。それでも自分達が最後まで勝てたことは大きかった。開幕4連勝なので次も勝点3を取りたい。個人としても点を取って勝利したい。



一方の朝鮮大は前節、東国大とスコアレスドロー。4試合中3試合で引き分けと、なかなか勝ち切れない。しかし、ここまで毎試合大量失点を喫していただけに「強い相手を無失点に抑えたことは、自信にもなるし次につながる」（金載東監督）。前半は何度もピンチがあったが、GK李在根（4年）を中心に守り切った。関学大の強力な攻撃陣を抑え、積極的に攻撃を仕掛けていきたい。



韓勇太 (朝鮮大・FW・1年)
ディフェンスが無失点という結果で仕事をしてくれた中、チャンスもありながらもにできなかった自分がいたので、次節はチームの為に自分の力強さを生かして大量得点をあげたいと思います。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：なし

東京国際大学 VS 東京学芸大学

4月25日(土)
13:50
東国大G

前節は朝鮮大と0-0で勝点1にとどまった東国大。2連勝のあと2試合連続無得点と、ややペースダウンしている。今季は「自分たちから仕掛けていくサッカー」（前田秀樹監督）を志向しているという言葉通り、前半は攻め込みながら、相手GKの好守やゴールポストに当たるなどで得点はならなかった。一方で守備は4試合中3試合が無失点と好調。今季の戦い方を徐々に形にしたい。

堤昂平 (東国大・FW・2年)
均衡した試合の中でDF陣が0に抑えられたが、攻撃陣が点を取らなかったことで足踏みがよく、ゴールに近づきます。ホームで東学大との試合なのでしっかりと自分が出たい。1部常連校だったのでしっかりと勝ち点3を掴みたいです。



一方東学大の前節は4-5という激しい試合。0-3から追い付き、一度は勝ち越したがすぐに追い付かれ、後半アディショナルタイムに決勝点を許した。関学大攻撃陣への対応としてDFラインに5人を置いたが、2分にミス絡みで失点するとズルズルと3失点。ただし、「開き直れた」（楢山康監督）ことで4得点できたこと、攻撃のリズムをつかんだことは今後に向けて光明だ。



安澤裕麻 (東学大・DF・4年)
3失点した時点で終わってしまった人かもしれないと思うが、前節の敗戦を経て強い気持ちを持ってチャレンジし続けた結果、今回のような試合展開にすることができた。個人としては、良い時間帯に貴重な2ゴールを取ることでできてよかった。選手も応援してくれているみんなも丸とどって良い雰囲気になっていただけに勝ちきれず、とても悔しい。ミスもあって、思い切りよく自信を持って1スタクを負ってでもみんな攻撃に参加して、まだ無敗の東国大から勝ち点3奪いたい。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：なし

青山学院大学 VS 産業能率大学

4月28日(日)
11:30
日体大G

前節、待望の今季初勝利を手にした青学大。日大と対戦し、前半は一進一退の攻防の中、44分に今季初スタメンとなったMF三田真也（3年）が先制点。後半開始早々に同点とされたが、3点を奪って突き放した。これまでの試合と比べ、守備を意識した分、攻撃では決定的なチャンスが少なくシュート5本で4得点という効率の良さ。得点力は安定しており、攻撃で主導権を握りたい。

三田真也 (青学大・MF・3年)
3試合なかなか勝つことができなかったため、全員で丸とどって勝つてたことが嬉しい。ニアに走った時に、届かないだろうなと思いつつ足を出したらつまずき当たって、ゴールを決めることができたので、ラッキーだった。青学大の勝負はここからなので、自分ももっとたくさん点を取って、チームに貢献できればいいと思う。



一方の産能大は前節、東洋大に1-4で敗れた。FW越智和（2年）を中盤に下げた攻撃のバリエーションを増やし、シュート数は相手を上回る20本を放ったが、1点にとどまった。続く23日には延期となった筑波大戦を戦い、5失点を喫して1-5で敗れてしまった。前半だけで3点を奪われ力の差を見せつけられた。毎試合1得点は記録しているが、失点の多さが課題だ。



浜下瑛 (産能大・MF・2年)
今節(延期分)の第3節も早い時間に失点してしまい、修正することができず失点を重ねてしまい、ペースを作ることが出来なかった。課題を修正して次節こそ勝ち点を取れるように頑張ります。

3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：青学大0-1産能大/青学大1-0産能大

筑波大学 VS 日本体育大学

4月20日(日)
13:50
日体大G

東海大に2-1で勝利し、2勝目を挙げた筑波大。また延期となっていた産能大戦が23日に行われ、5-1と大勝利した。東海大戦は、前半から試合を優位に進めながら後半はカウンターの間ゴロボールからDFラインとGKの間を突かれ、守備面に課題を残したが、産能大戦では攻撃で優位に立ち、前半だけで3得点。FW北川純斗（2年）のハットトリックの活躍も今後に向けて光明だ。

北川純斗 (筑波大・FW・2年)
前半のチャンスを決めていたらと案に試合を進められたと思いが、大量得点で勝つことが出来た良かった。シュートチャンスが多、3ゴール決めることができたのは良かったが外す場面も多かったので精度を上げていきたい。4連勝中の日体大戦は出場しないと思うのでしっかりと勝利を掴みたい。



対する日体大は前節、拓大に先行され厳しいプレスにあって苦しい試合展開となったが、64分に相手DFが退場したことで数的優位となり、86分に決勝点を奪って4連勝を飾った。シュート数も上回られたが、今季は少なくとも1点は取れるという自信が余裕をもたらしている。前半終了直前に追いついたことも大きい。1部常連校だった筑波大との対戦は、真価が問われる一つ目の山だ。



3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：なし

高井和馬 (日体大・MF・3年)
立ち上がりがいまいか自分達のペースを作るのが出来なかったが、後半からは良くなってきてこういう厳しい試合を勝ちきれたのは良かったと思う。立ち上がりから自分達のサッカーができるようにしたい。

拓殖大学 VS 東海大学

4月28日(日)
11:30
東洋大G

惜しい試合を演じながら初勝利を逃している拓大。前節は全勝中の日体大に対し、5分に先制点を奪いながら41分に失点、後半は64分に退場を出し、守り切れず86分に勝ち越し点を許した。「悲観する内容ではなかった」と玉井朗監督が言うように、攻撃では積極的なプレスからチャンスをつづけたが後半は運動量が落ちた。終了直前の失点は課題だ。今は我慢の時と言えらる。

小野瀬直亮 (拓大・FW・3年)
早い時間に先制ができて流れは良かったのですが、逆転されてしまいました。そこが弱さだと思います。次は勝ちにつながる得点ができるように頑張ります。



その東海大は前節、筑波大に1-2で敗れた。現在4連敗と結果につながっていないが、筑波大戦では相手GKとDFラインの間をうまく突き、シュートも11本を放った。前半は筑波大に攻め込まれ、6分に先制点を許したものの、その後は得点を許さず接戦に持ち込んだ。85分の失点は悔やまれるが、後藤太郎監督が「改善点が見えた」と言うように次へつながる一戦だったと言える。



3回警告：なし
出場停止：新山祐希(拓大)
昨年度対戦：なし

滝日晃大 (東海大・MF・3年)
引き分けに出来た試合を落としてしまったことがとても悔しい。守備も安定していて、点が取れる雰囲気もあったので、そこは継続して頑張りたい。今、4連敗という状況で勝つかないのでしっかりと準備して次の試合に挑みたい。

東洋大学 VS 日本大学

4月28日(日)
13:50
東洋大G

連勝で3位をキープしている東洋大。前節は産能大と対戦し、4-1で快勝した。どちらかといえばスロースターターの東洋大だが、この日は前半からペースを握って2得点。後半開始早々に1失点を喫したものの、すぐに追加点を奪って相手に流れを与えなかった。MF山頭啓矢（3年）が3得点アシストと全点前に絡む活躍。攻守とも好調で、全勝中の上位2チームを迫る。

小島正之介 (東洋大・FW・4年)
今日は、勝ちきれ良かった。後半は上位校との試合を控えて、下位校との試合は勝ち点を取らなくていいようにしっかりと勝たかったので勝てて良かった。チーム丸とどってハードワークして戦えたのでこれを引き続き続けて次もまた勝てるように頑張っていきたい。



一方の日大は前節、青学大に1-4で敗れた。ここまで1試合での失点は少なかったが、青学大にはシュート5本で4点を奪われた。前半は試合を優位に進めていたものの、44分にワンチャンスを決められ先制を許すと、後半開始早々に追い付きながら4分後に失点し、流れを相手に渡ってしまった。今節も得点力のある東洋大が相手だけに、守備面を再度見直して挑みたい。



3回警告：なし
出場停止：なし
昨年度対戦：東洋大0-1日大/東洋大2-0日大

山口駿 (日大・DF・4年)
前半残り少ない時間帯で失点したのが痛かった。後半、始まってすぐ失点とれたが、またすぐに失点してしまったところに自分たちの甘さが出たと思う。東洋大は上位を走っているチームだが、そのような強いチームにも勝てるような準備をしていきたい。そして、しっかりと勝ち点3を取りに行きたい。